

『陶磁器用水性撥水剤について』

陶磁器用水性撥水剤CP-HとCP-Lは、釉薬の中に混入して、その釉薬が乾燥すると撥水性能が現れ、次に施釉する釉薬を掛分けできるようになります。

- ・ グレーズ状の釉薬に混合するタイプです。
- ・ 多色で釉薬同士の塗り分けが同時にできる
- ・ 生素地、乾燥素地、素焼地、白雲焼締素地用
- ・ 呉須、上絵の具でも使用できます

調整方法

1. 混入したい釉薬をある程度沈殿させ、うわ水を捨てその残った釉薬（ボーム計釉薬約60度程度）100部に対して重量比で10部のCP-Hを添加混合し、充分攪拌する
CP-H単独で満足した撥水性能が出ない場合は、CP-H、CP-Lを併用する。
その際は、釉薬100に対してCP-H 7 CP-L 3が平均的な配合ですが、6対4、7対3の場合など、撥水の調整が出来ます。
しかし、5対5での混合は、ピンホールや釉飛びの危険があります。
2. 混合方法は、1液ずつ混合して下さい。同時混合は、撥水性を損ないます。
添加後粘度を下げたい場合は水を加えて調整して下さい。
3. 乾燥時間は、15分以上です。
4. 混合した釉薬の撥水効力は数日です。素地に塗った場合の撥水効力は1週間以上です。
5. 骨灰釉、鉄釉、粒子の粗い釉及び糊剤を多く含む釉は、撥水効果が落ちる場合があります。

注意事項

1. CP-Lは、発泡します。
2. 冷所にて保存下さい。但し、凍らせると商品効果はなくなります
3. CP-Lは、腐食しやすいのでご注意下さい。
4. 作業時は、必ず手袋、マスク、メガネ等の保護具を着用して下さい
5. 子供の手の届くところには置かないで下さい